

本書は、別冊のシステムキッチン取扱説明書および据付説明書と併せてお読みください。

家電パントリーキャビネット

取扱説明書
据付説明書

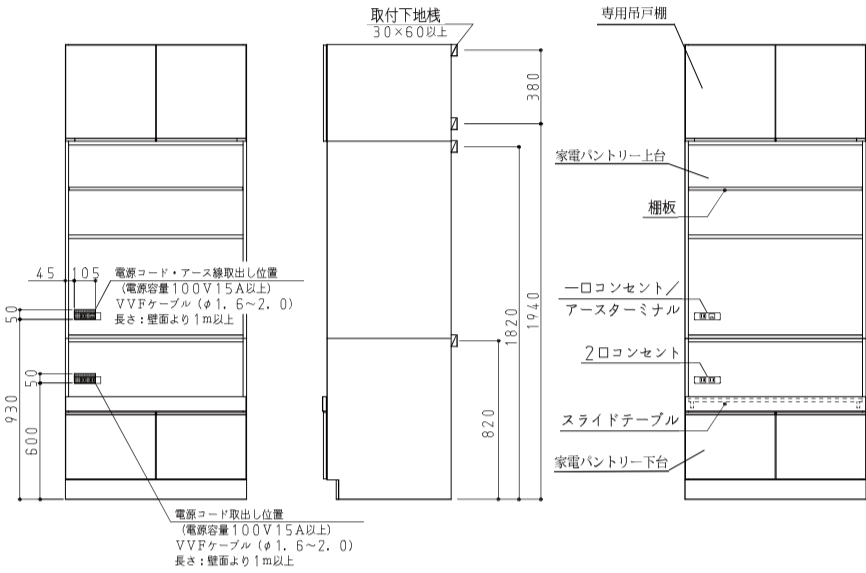
据付業者様へ：本書は取扱説明書と兼用になっています。
据付け後はお客様にご使用方法を説明の上、必ず本書をお渡しく下さい。

1 据付け前の確認

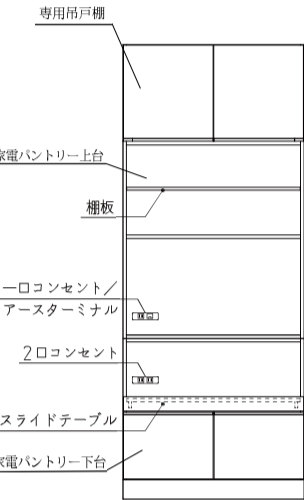
一次電源・アース線の確認

キャビネットを据付ける前に、壁面から取り出している100V15Aの2系統の一次電源コード・アース線の位置を確認し、不備のある場合は据付ける前に調整しておいてください。

標準設置寸法図



各部の名称



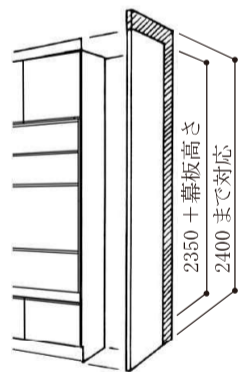
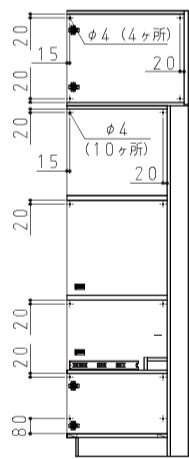
同梱部品一覧

									説明書
家電パントリー下台	未ネジ丸頭φ3.1×13	未ネジ丸頭φ3.5×38	L型金具	T.Pネジφ4×32	コースレッドネジφ5.3×70	化粧キャップ	未ネジ鉄皿φ3.5×32	棚タボセット	1
家電パントリー上台	4	4	2	6		6		1	
専用吊戸棚					5	5	5	1	

5 隣接するエンドパネルがある場合

隣接するエンドパネルがある場合は、
下図の位置に下孔(φ4)をあけてください。

キャビネットの組み合わせを確認し、
エンドパネルをキャビネットの大きさに合わせて
斜線部を切断してください。



6 電気配線

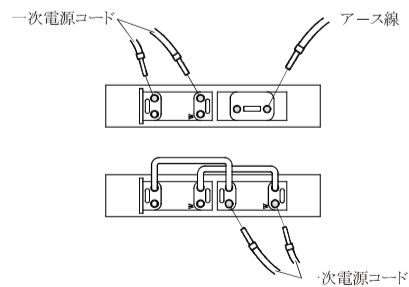
ご注意

※ 電源コードは銅線が隠れるまで確実に奥まで差し込んでください。確実に差し込まないとショート・感電・火災のおそれがあります。
差し込み後、引引っ張って容易に抜けないことを確認してください。

キャビネットの裏面には「1口コンセント・アースターミナル」と「2口コンセント」がありますので、間違わないよう結線をしてください。

1) キャビネット裏面の1口コンセント・アースターミナルに壁面より出ている一次電源コード(φ1.6~2.0)およびアース線を結線してください。

2) キャビネット裏面の2口コンセントに壁面より出ている一次電源コード(φ1.6~2.0)を結線してください。



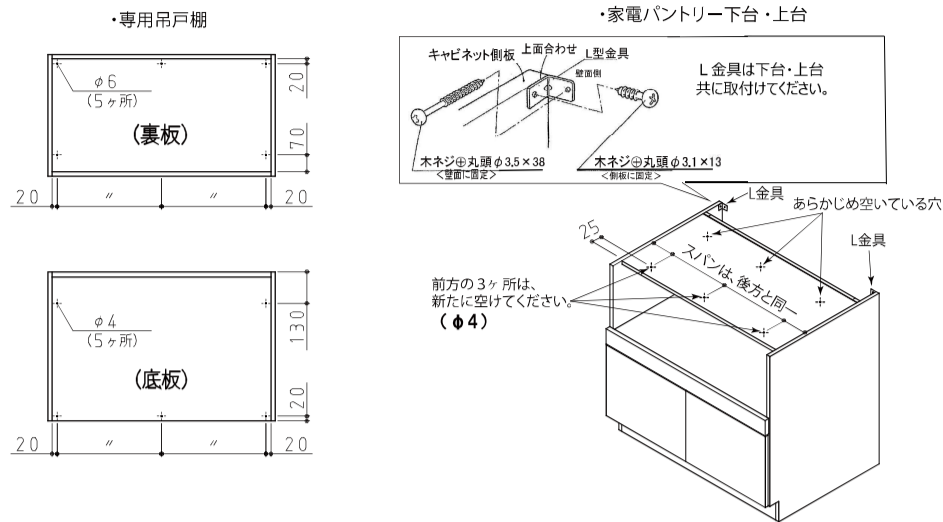
2 キャビネットの据付け

1 専用吊戸棚キャビネットの壁面固定・キャビネット連結用下孔あけ

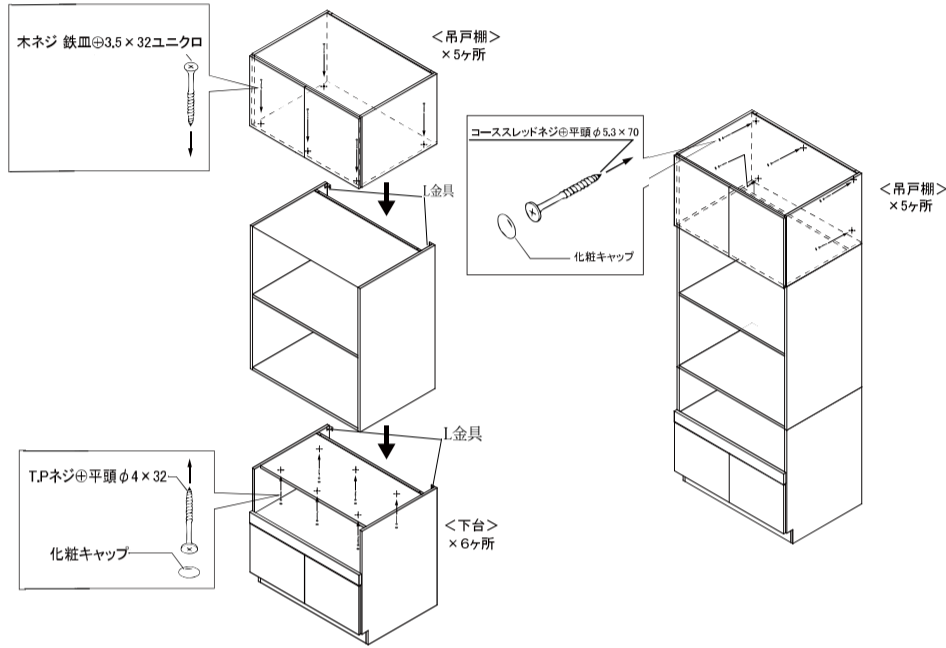
専用吊戸棚キャビネット裏面に壁面固定用下孔(φ6)をあけてください。上部専用吊戸棚底面に連結用下孔(φ4)をあけてください。

2 家電パントリー下台の上下連結用下孔あけと、壁固定のためのL金具取り付けと、壁面固定

家電パントリー下台天板に、上台との連結用下孔(φ4)をあけてください。後方3ヶ所はあらかじめ空いております。前方3ヶ所のみ空けてください。壁固定のためのL金具を4ヶ所取り付け、壁面に固定してください。



3 キャビネット同士を、上下連結してください。



3 安全上のご注意

取扱説明書

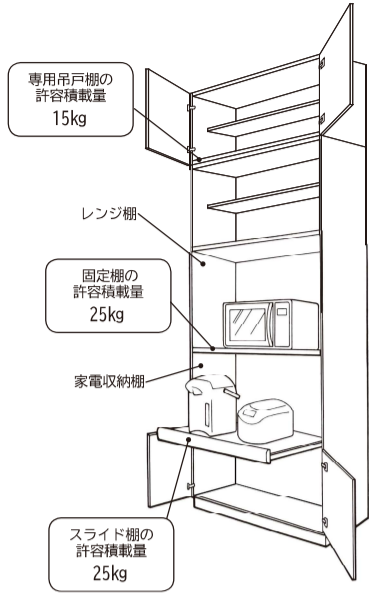
警告

<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コンセントの表示容量(合計1480W)をこえる電気器具を使用しないでください。 <p>たこ足配線などで表示容量をこえると、発熱により火災の原因になることがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱や蒸気の出る電気器具を使用する場合、保温時以外は必ずスライド棚を引出してください。 <p>火災や漏電、故障の原因になることがあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● スライド棚を収納するときは、電源コードを挟み込まないでください。 <p>コードが破損し、感電や火災のおそれがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気コンロ、ガスコンロなど熱源が露出する器具や、電子レンジ、電気フライヤーなどを使用しないでください。 ● キャビネットが過熱し、火災の原因になることがあります。 <p>収納する電気器具については、各器具の説明書に記載の設置基準をお守りください。 使用できる器具: 電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー、トースター</p>

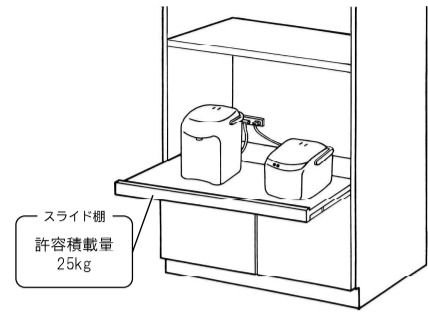
注意

<ul style="list-style-type: none"> ● むれた手でコンセントに触らないでください。 <p>感電するおそれがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スライド棚に乗ったり、ぶつかったり、寄りかかたりしないでください。 <p>スライド棚が破損したり、収納物が落ちてケガをするおそれがあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● スライド棚に25kg以上のものを載せないでください。 <p>スライド棚が破損し、ケガをするおそれがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スライド棚を勢いよく出し入れしないでください。 <p>収納物が落下したり、お湯がこぼれてヤケドやケガをするおそれがあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● オープンレンジ使用後は、取っ手以外の扉周辺部に触れないでください。 <p>オープンレンジからの熱で熱くなり、ヤケドの恐れがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセントはときどき電源プラグを抜いて拭き取り、ほこりがたまらないようにしてください。 <p>ほこりがたまるとう発火の恐れがあります。特に湿気の多い場所のコンセントに注意してください。</p>

4 ご使用方法



家電収納棚



蒸気が出るポットや炊飯器も、スライド棚を引出すだけで簡単に使用できます。使用しないときは、スライド棚を収納しておけば、すっきりと納まります。

●コンセント

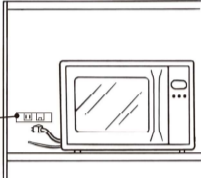
コンセント2口で
1480Wまで



レンジ棚

大きな設置スペースを必要とする電子レンジも余裕をもって収納することができます。

アース付コンセント
1480Wまで



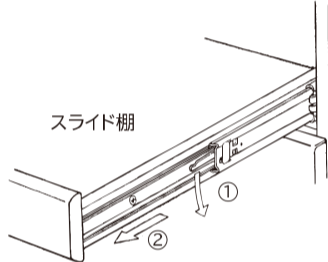
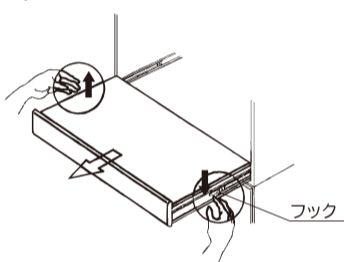
※電子レンジを設置する場合は、機器の取扱説明書に従って設置し、アース線を確実に取付けてください。

収納棚

収納している家電製品の付属パーツやホットプレート・卓上コンロなどを収納していただけます。

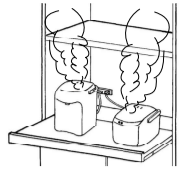
5 スライド棚の取り外し・取付け方法

スライド棚をいっぱいに出し、右側のレールはフックを①の矢印方向に下げながら、左側のレールはフックを上げながら②の矢印方向へ引いてください。取付け方法は、スライド棚本体レールをキャビネット側のレールに差込み、そのまま奥まで押込んでください。

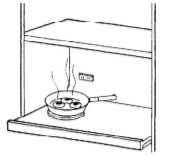


使用上のご注意

・炊飯と湯沸かしを同時に行わないでください。ブレーカーが落ち、ご飯が炊きあがらない場合があります。



・スライド棚やカウンターに熱い鍋などを直接置かないでください。変形や火災のおそれがあります。



・収納庫内が結露したり、スライド棚に水などがこぼれた場合はすぐに拭き取ってください。キャビネットが変形したり、レールがさびるおそれがあります。



・硬いものでスライド棚の上をこすらないでください。

説No.P550-1